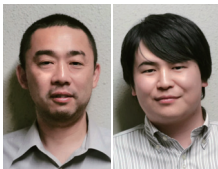


生活習慣病の予防・診断、食生活による制御



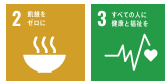
栄養生命科学科
(生化学研究室)

三好 規之、吉岡 泰淳

- 連絡先 TEL: 054-264-5531 FAX: 054-264-5530
- ホームページ <https://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/biochem/>

キーワード

食生活, 生活習慣病, 炎症マーカー, 食品栄養成分分析, 生理活性分子探索, 機能性食品



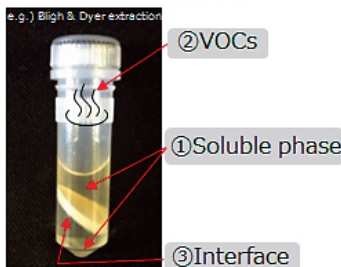
豊かな食生活は、運動・睡眠と等しく健康維持に重要な生活習慣病予防戦略であり、生体制御異常を正常化する様々な食品栄養成分の作用メカニズム解析は、人類の健康増進・QOLの向上・健康長寿へと繋がる重要な一翼を担っています。一方で、生体の恒常性維持機構の破綻は、生活習慣病をはじめとする様々な疾患の要因となるため、生物個体、組織、細胞の生理病理的变化を解析することは、疾患の予防と促進メカニズムを理解する上で非常に重要です。我々は、恒常性維持機構に関連する病態に依存した内因性分子の変化と食品成分による予防メカニズムに関する研究を展開しています。

内因性分子の生理病理的变化探索の一例

Sample harvesting



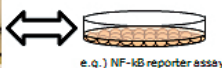
Sample preparation



MS spectrometric analysis



Bioassay



アピールポイント

生活習慣病診断に応用可能な内因性分子の探索と食品栄養成分の持つ生体調節作用を明らかにするための機器分析・バイオアッセイに関する研究分野で貢献します。